

新発田市 令和4年度 第9回定例記者会見

1 日 時 令和4年11月24日(木)午前11時00分～

2 場 所 ヨリネスしばた503会議室

3 内 容

【市長発表項目】

○蔵春閣が来春オープン！

○母校の ICT 教育充実のため最先端機器等を寄贈

○「会館ピアノ」プレクリスマス・ピアノ・リレーコンサート

○国際理解講座「クリスマスってなーに？」

【その他】

○第 17 回新発田よさこい合同発表会

○特定空家等の緊急安全措置を実施

○新発田市議会 忠臣蔵法被姿で本会議を開催

○堀部安兵衛を偲ぶ「義士祭」

○令和 4 年度市民表彰式 令和 5 年新発田市新春を祝う会

あいさつ

○当選後初の定例記者会見ということですので、まちづくりについて少し話をしようかなと思います。いずれにせよはっきりわかっていることは、市民がコロナで疲弊しているということ。このことを無投票とはいえども、その背景にあるのはそこだということに改めて意識しなければならないというふうに思って、この4年間しっかりと心を配ってまちづくりをやっていきたい。もう一つは、新しい新発田を創っていくということ。旗印そのものは下ろす気はありませんし、変える気もありませんけれども、ただそのままのスローガンを継承するということではなく、一段高い New 新発田を創るというつもりでこの4年間やっていきたいと思っています。

最初に蔵春閣の来春オープンについて

○令和4年4月に移築作業が終わっております蔵春閣ですけれども、現在は一般公開に必要な付帯施設建設や園路などの外構工事を行っており、整備が順調に進んでいるところです。一方で、この蔵春閣をどのように使っていくかということをも市民の皆様からの意見を募りながら検討を重ねてまいりました。この度、利活用についての基本コンセプトがまとまりましたことから、去る11月8日に開催された市議会会派正副会長会議におきまして、副市長から施設の運営概要や利活用方針について説明させていただきました。

○メインコンセプトは、食と文化の伝承です。当市の基幹産業である農業と食は切っても切り離せません。そして大倉喜八郎翁が生まれ育った当地新発田の文化や蔵春閣をはじめ、喜八郎翁がその優れた才覚で自ら作り上げた文化や創業の精神を、訪れる市民や観光客の皆様、そして次代を担う新発田の子どもたちに伝えていく拠点にしたい。このような思いからコンセプトを決定いたしました。

○オープンは、令和5年4月29日の予定です。オープン当日には、大倉喜八郎翁ゆかりの企業などと連携した記念イベントの開催も考えているところですので、多くの皆様においでいただきたいと考えております。なお、開館時間や入館料金などについては、条例制定が必要であり、市議会12月定例会において、施設の設置条例議案を上程するとともに、オープンに向けて必要な準備経費を補正予算として計上する予定です。ぜひとも議員の皆様にもご賛同を賜り、蔵春閣がまちの活気を呼び起こす起爆剤となるようなオール新発田で進んでまいりたいと考えております。

次に、ICT 教育充実のための機器等の寄贈について

○このたび、100円ショップチェーン「セリア」を展開する株式会社セリアの共同創業者である伊藤二作様から「未来の社会を担う人材を支援したい。」ということで、七葉中学校に最先端の情報機器などを寄贈いただくこととなりました。

○伊藤さんは当市菅谷地区に生まれ、今の七葉中学校に統合された旧菅谷中学校を卒業後、就職のため、愛知県一宮市に転居されました。1985年に株式会社セリアを共同創業されて以降、専務として同社を業界上位にまで成長させた方です。伊藤さんからは、これまでも当市に高規格救急車の寄贈や新型コロナウイルスが蔓延する中、いち早く医療用ガウンやグローブの支援をいただいております。

す。これらによりまして、市民の命が守られ、市民に安心を与えていただきましたことに、私としても深く感謝しているところです。

○伊藤さんは中学生時代、学校のグラウンドにある方から、国旗掲揚塔を寄贈された出来事が印象に残っており、いつか自分も母校に恩返しをしたいという思いから今回の寄贈に至ったものと伺っております。七葉中学校はどの教科でも ICT を積極的に取り入れた授業を行っておりますことから、いただいた機器で、現在のパソコン教室を ICT 教室として全面的にリニューアルさせていただきたいと考えております。これにより、子どもたちの意欲が一層高まり、大きな成果を出してくれることを期待しております。

○11月30日水曜日に市長室でのセレモニーの後、伊藤さんには母校に足を運んでもらい、寄贈された最先端の情報機器で行う授業を参観していただくこととしております。郷土に対する寄贈者のご厚意を多くの皆様に知っていただきたいと思っておりますので、当日の取材をお願いいたします。

次に、「会館ピアノ」プレクリスマス・ピアノ・リレーコンサートについて

○新発田市民文化会館では、いわゆるストリートピアノを設置し、いつでも誰でもグランドピアノが弾ける「会館ピアノ」として市民の皆様からご利用いただいております。文化会館の「会館ピアノ」は、市内では唯一のストリートピアノで、広いロビーの隅々まで大音響で響く音が特徴です。最近では噂が広まり、市外や県外などの遠方からも、ストリートピアノファンがピアノを弾きに来られるそうです。

○その「会館ピアノ」をもっと多くの方に弾いて・聞いて・楽しんでいただくため、今回演奏者のリレーで繋ぐピアノリレーコンサートを初めて企画しました。演奏者は市民の皆さんです。現在演奏者は募集中で、子どもから大人の方まで、音楽のジャンルや演奏の腕前は問いません。エントリーに空きがあれば、当日の飛び入り参加も大歓迎です。当日はクリスマスの飾り付けをしてお待ちしております。ぜひ参加して、ピアノを弾いて・聞いて・楽しく過ごしていただきたいと思っています

最後に、国際理解講座「クリスマスってなーに？」について

○当市では、多文化が共生し、多様性を認め合い、故郷として愛着が持てるまちを目指し、国際交流や在住外国人支援に取り組んでおります。これまで日本にお住まいの外国の方に対する行政の関わり方は、支援や保護の対象として、日本語

教室への誘導や生活情報、災害情報の発信などを行い、外国の方が安心安全に暮らせるようにするというものでした。

○しかし日本の人口が減少局面に入り、少子高齢化が進む現在において、持続可能なまちを作っていくためには、外国の方もまちづくりの一員という視点を持ち、ともに協力し合い、地域の活性化やグローバル化を目指すと共に、多様化する文化・風習を理解し、受け入れる環境作りを進めていかなければなりません。

○コロナ禍の影響を受け、企業で働く技能実習生や海外からのインバウンドによる観光客が一時減少したものの、今年 10 月に入国制限が緩和されて以降、全国的に入国する外国人も増え、当市においてもコロナ前の人口に戻りつつあります。本日はご紹介するイベントは、フィリピンのクリスマスをテーマに、フィリピン出身の講師をお迎えして、フィリピンについて学びを深める国際理解講座です。

○クリスチャンが大半を占めるフィリピンでは、バーの付く 9 月 September からクリスマスの準備が始まり、12 月 December まで続く世界で一番長いクリスマスと言われ、期間中、街は華やかに飾られ、賑わうそうです。こうした外国の文化を皆様へ紹介し、また当市の文化を外へ出していただく方へ案内していくことで、どのような方でも、この新発田で生き生きと過ごしていただけるよう取り組んでまいります。